

下村小学校「ちょボラ」活動報告

◆ 活動の取組状況



月2回、各委員会の児童が順番に玄関前に出て、アルミ缶回収を行いました。低学年の児童もビニル袋に入れて持ってきてくれるので、助かっています。



6月と10月に美化・掲示委員会主催の「なかよしクリーン作戦」が例年通り行われました。空き缶やタバコの吸い殻等を拾い、通学路がきれいになりました。



11月には、しっかり目を見て挨拶しようという目当てをもち、児童会が「eyeさつ運動」を企画しました。のぼり旗やカードを準備して全校に呼びかけました。



7月31日、下村デイサービスに5年生が作ったマスクを届けました。縫い目はふぞろいでしたが、「心がこもっているよ」と喜んでくださいました。



全校に呼びかけて、12月に「赤い羽根共同募金」、1月に「書き損じはがき回収」の協力をお願いしました。今年も募金は12539円、はがきは、174枚も集まりました。



12月には、5年生が下村保育園を訪問し、来年度下村小学校に入学する年長さんと交流しました。手作りのカルタやパズル、ゲーム等で楽しくふれ合う時間をもちました。

◆ 活動の振り返り（5年生）

マスク作り

私たちはマスク作り、デイサービスの方にわたしに行きました。そんなにうまく作れなかったのですが、ようこんでちゅうえるから心配でした。ですが、「ありがとう」と笑顔で言ってくれました。その時、がんばって作ってよかったなと思いました。コロナ禍が過ぎたら、ぜひデイサービスへ行、ていろいろお話をしたりして交流したいです。

eyeさつ運動

私が「eyeさつ運動」をして学んだことはあいさつをした自分とあいさつされた人両方が気持ちよくなるということでも、あいさつは人を元気にする力があるものだと思います。これからも自分たちは「eyeさつ運動」でいいときばかりと家族や地域、学校のおみんなにあいさつをしていきたいです。